

## ふれあい記録

実施日：令和元年 5 月 16 日（木）

当番者名：小俣悦男、相川 勲

コース名：独自コース 70 番 「<sup>こぶがほら</sup>古峰ヶ原高原～前日光横根高原」（その 1）（通算回数 第 151 回）  
（関東ふれあいの道 栃木県 3 番 高原と牧場のみち）

天 候：曇り（後半少し雨ぱらつく）

参加者名：相川 勲、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、柴崎 幸治、根本 邦子  
船橋 エイ子、堀井 克子、宮原 宏至  
〈ビジター〉市瀬 英雄  
計 11 名 （内、男性 7 名 女性 4 名）（五十音順）

交 通（時刻）：（JR）横浜 6:39 発⇒（上野東京ライン）⇒8:58 着宇都宮〈乗換〉9:30 発⇒  
⇒（日光線）⇒9:44 着 JR 鹿沼駅  
（関東バス・リーバス古峰原線）JR 鹿沼駅 10:20 発→ 11:20 着 古峯神社バス停

コースタイム（時刻）：<sup>ふるみねじんじゃ</sup>古峯神社参拝の後、社殿に上がり休憩の間に昼食を摂る。  
古峯園入口まで散策し、古峯神社を 12:20 出発 → 県道 58 号（古峰原街道）と登山道の  
分岐 13:25 → 古峰ヶ原高原 14:28～14:35 → 三枚岩・金剛山奥の院 15:35～15:45 →  
方塞山 16:00 → 前日光ハイランドロッジ 16:45 着（宿泊） == 歩行距離 8.5km ==

みどころ：① <sup>ふるみねじんじゃ</sup>古峯神社：祭神は日本武尊 <sup>やまとたけるのみこと</sup>であるが、御祭神の使者である天狗が厄除け  
として靈験あらたかと信仰を集め、広い境内や学校のような長い社殿の内部などあちこちに  
天狗の面が祀られ「天狗の社」ともいわれる。  
今回は社殿が工事の足場で囲われ厳粛な雰囲気が無かったが、中央の拝殿の豪華な彫刻や社殿  
内部の広い部屋々々、顔の赤い大天狗と黒い嘴の烏天狗を幾つも観ることができた。  
② 古峰ヶ原高原：標高 1300m の高原台地で湿原もある。初夏はレンゲツツジやシロヤシオな  
ど数々のツツジで覆われる筈がまだあまり咲いていなかった。  
③ 三枚岩：標高 1378m の尾根にある大きな石で横に割れ目が入り 3 枚積んだように見える。  
傍に金剛山奥の院なる社、夫婦岩もある。近くに「天狗の庭」という苔むした岩が累積した所もあり、  
かつて日光開山の勝道上人が修行した所と言われている。

自然観察：①ツツジ 古峯神社を出て県道 58 号沿いにレンゲツツジが場所によっては豪華に咲  
いていた。山道に入ってから特に三枚岩を含む尾根筋ではトウゴクミツバツツジやアカヤシオの  
ピンク色の花がきれいだった。  
②目立たないがスミレなど春の小さな花も目についた。  
③前日光牧場はまだ牛を放牧していないが、高原の広々としたうねりと白い牧柵がロマンを感じ  
させる

特記事項：①県道 58 号から山道に入る分岐が意外にも上の方で、見逃したかの不安を覚えた。  
10 年前の記録にも同様の経験が書かれているので当番の事前学習の不足を感じた。  
②15 時 25 分「天狗の庭」手前で雨がパラついてきたので雨具を付けたが、その後も偶に小雨が  
ある程度で殆ど濡れることなくロッジに着くことが出来た。

## ふれあい記録

実施日：令和元年5月17日（金）

当番者名：小俣悦男、相川 勲

コース名：独自コース 70番 「古峰ヶ原高原～前日光横根高原」(その2) (通算回数 第151回)  
(関東ふれあいの道 栃木県4番 湿原とせせらぎのみち)

天 候：晴れ

参加者名：相川 勲、岩崎 宗郷、江口 正彦、小俣 悦男、神谷 順子、柴崎 幸治、根本 邦子  
船橋 エイ子、堀井 克子、宮原 宏至  
<ビジター> 市瀬 英雄  
計 11名 (内、男性7名 女性4名) (五十音順)

コースタイム (時刻)：前日光ハイランドロッジ 8:25 発 → 横根山 8:40～8:45 →  
井戸湿原 9:20 → 五段の滝(往復 9:25～9:50) → 仏岩 10:22 → 象の鼻展望台 10:25～10:40  
→ (苔むした沢沿い、林間コース) → 林道「山の神線」終点 11:40 → 山の神 13:00 着  
== 歩行距離 9.5km ==

交通 (時刻)：(タクシー) 山の神 13:25 発⇒14:20 分着 JR 鹿沼駅 (一応解散)  
(JR) 鹿沼駅 14:59 発⇒(日光線) ⇒15:13 着宇都宮 <乗換> 15:34 発⇒(湘南新宿ライン)⇒  
⇒17:53 着横浜駅

みどころ：①井戸湿原：標高 1300m にある小さい高層湿原で小尾瀬とも言われる。中央を  
しっかりした木道が通っている風景は尾瀬とそっくりである。  
高山植物の宝庫でもある。6月のレンゲツツジが素晴らしい。  
②五段の滝：湿原の端を流れる清流にかかる可愛い滝。  
③象の鼻展望台：象の頭部に似た大岩がある。崖上に張り出したコンクリートのテラスがあり、  
近くは方塞山や前日光牧場、ハイランドロッジ遠くは日光連山など眺望抜群である。

自然観察：①ツツジ：横根山から象の鼻展望台までトウゴクミツバツツジやアカヤシオと思われ  
るピンク系の花がここかしこに見られた。  
レンゲツツジやアカヤシオなどと共に一斉に咲くのは1週間後くらいになるらしい。  
②象の鼻展望台から下の苔むした沢沿いには多種の苔類が岩にも木製の橋にもびっしり付き、  
注意深く見ればワチガイソウ、マイズルソウなどの小さな花々も豊富である。

特記事項：①五段の滝や象の鼻展望台で予定以上に時間を費やしたこと、苔むした下りの道で  
慎重に歩いたこともあって時間が遅れ気味となり、最後の「山の神林道」約 7km は休みも取れ  
ない余裕のない行程となった。体力的に 10 年前との違いが出たのかと思う。  
②10 年前は秋に歩き、見事なツツジの樹々を見て春にもう一度行きたいと思った。  
真っ赤なツツジのトンネルには少し早かったが、あちらこちらに咲くピンクのツツジには満足  
出来た。